

報道各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

シンポジウム「水災害時の避難のあり方について」開催 ～首都東京に起こりうる大規模水害、高潮に備えて～

昨今、地球温暖化等により水災害の発生リスクが高まる中で、国、地方自治体等が緊密に連携して、円滑かつ迅速な避難体制を整備することが不可欠となっています。

この度、2015年6月30日（火）新宿 NS ビル（東京都新宿区）にて日本自治体危機管理学会主催、東京都後援のシンポジウム「水災害時の避難のあり方について」が開催され、当社は協賛企業として参加しました。

【シンポジウム「水災害時の避難のあり方について」シンポジウムの概要】

日本自治体危機管理学会会長の明治大学 中邨名誉教授による開会挨拶の後、明治大学 青山佾特任教授より、災害発生リスクの高まりと避難体制構築の必要性について、東京都副知事の経験を踏まえた基調講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、座長に明治大学 中林一樹特任教授を迎え、各パネリストから①学識経験者からの問題提起、②行政の取り組み、③現場からのソリューションの紹介がありました。当社の中尾毅防災事業推進室長がパネリストとして参加し、現場からのソリューションとして「荒川下流域における大規模水害時の垂直避難について」を事例として紹介しました。その後、大規模水害時の防災情報の提供方法や避難行動に関する住民への対応について、活発な議論が行われました。

【シンポジウムの様子】



明治大学青山佾特任教授による基調講演



パネリストとして参加した
中尾毅防災事業推進室長



パネルディスカッションの様子

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL: <http://www.oriconsul.com/>
統括本部 三百田、伊藤

「水災害時の避難のあり方について」(シンポジウム)
～首都東京に起こりうる大規模水害、高潮に備えて～

主催：日本自治体危機管理学会

後援：東京都

協力：(株)オリエンタルコンサルタンツ

■日時：2015年6月30日(火) 開場：13:30 開演：14:00～17:00

■会場：新宿NSビル 30階 ホールA・ホールB

《プログラム》

14:00～ 開会挨拶 日本自治体危機管理学会会長 明治大学 名誉教授 中邨章

14:10～ 基調講演

災害発生リスクの高まり、避難体制の構築の必要性 明治大学 特任教授 青山侑

14:50～ 休憩

15:00～ パネルディスカッション(座長：明治大学 特任教授 中林一樹)

I. パネラーによる提言及び事例紹介(15:00～16:15)

①学識経験者からの問題提起 1)～3)…各10分

1)国土強靱化地域計画と広域連携の必要性

明治大学 特任教授 中林一樹

2)気候変動に伴う大規模水害の逼迫と水害対策における時間軸の捉え方

東京大学 准教授 加藤孝明

3)都市における緊急速報メール(エリアメール)を用いた効果的な情報伝達

土木研究所 主任研究員 大原美保

②行政の取り組み 4)～6)…各10分

4)東京都の防災プラン～都内各地における風水害～

東京都総務局総合防災部防災計画担当部長 裏田勝己

5)カスリーン台風等での被害事例、東京東部低地帯の発災リスクについて

東京都建設局河川部長 中島高志

6)江戸川区における大規模水害への備え

江戸川区 危機管理室 室長 浅川賢次

③現場からのソリューション紹介 7)…10分、8)…5分

7)荒川下流域における大規模水害時の垂直避難について

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 防災事業推進室長兼河川港湾部長 中尾毅

8)大規模水害に対する葛飾区やNPOの取り組み

東京大学 准教授 加藤孝明

II. パネルディスカッション(16:15～16:45)

16:45～ 質疑応答

17:00 閉会